

平成18年度第1回理事会議事録

日 時 平成18年5月10日(水) 14:00～

場 所 日本体育協会 理事・監事室

出席者 <理事>

森会長、長沼副会長、佐治副会長、宮田副会長、岡崎専務理事、
石川常務理事、泉常務理事、森常務理事、石樽、大谷、尾崎、木下、
監物、小嶋、斉藤、篠宮、鈴木、瀬尾、竹田、武田、豊島、中山、
古川、松田、渡邊の各理事

<委任>

奥田、樋口の各理事(議長に委任)

<監事>

市川監事

理事総数27名、うち出席25名、委任2名、計27名で寄附行為第32条に基づき
理事会成立。

議 案

第1号 第9回秩父宮記念スポーツ医・科学賞受賞者の決定について

(長沼委員長)

受賞候補者の選考にあたっては、秩父宮記念スポーツ医・科学賞選考
委員会のもとにスポーツ医・科学の各分野から8名の学識経験委員によ
って構成した作業部会を設置し、その作業部会員ならびにスポーツ医・
科学専門委員会委員より、功労賞及び奨励賞の候補者を推薦願った。

その後、作業部会において候補者の絞り込み作業を行い、功労賞1名、
奨励賞1グループの推薦が選考委員会に対しなされた。

この作業部会からの推薦に基づき、去る4月19日に秩父宮記念スポ
ーツ医・科学賞選考委員会を開催し、功労賞については、心臓病学の分
野におけるスポーツ医学の発展に多大な貢献をされ、本会スポーツ医・
科学専門委員会のプロジェクト研究班長として、「運動における事故防
止に関する研究」で、スポーツ活動時の突然死の問題を時代に先駆けて
究明した他、本会公認スポーツドクター制度の制定に多大な尽力をされ
た村山正博氏を選考した。

また、奨励賞には、我が国で初めてスポーツ整形外科を独立診療科と

して創設し、開設当初より一般からトップアスリートまで、幅広くスポーツ障害及び外傷の治療・予防に貢献するとともに、数多くのオリンピック選手や日本代表選手の競技復帰にも寄与してきた「関東労災病院スポーツ整形外科診療班」が選考された。

以上のとおり資料に基づき説明し、功労賞として村山正博氏を、奨励賞として「関東労災病院スポーツ整形外科診療班」を決定したい旨を諮り、これを承認。

その他 本会職員労働組合との交渉権、妥結権について (岡崎専務理事)

本会職員労働組合から出される春闘及び各要求項目について、その交渉権と妥結権を会長及び労務担当である岡崎専務理事に一任願い、今後の交渉を取り進めたい旨を諮り、これを承認。

報告事項

1. 会務関係

(1)平成18年度公営競技等補助金の内定について (岡崎専務理事)

平成18年度の公営競技等への補助金・助成金等の要望については、平成17年度第5回及び第6回理事会にて報告したが、このたび、各関係先から内定額の通知があった。

「日本自転車振興会補助金」については、17年度に対し、1千1百84万円、5.2%減の2億1千5百99万5千円となった。

内訳としては、「国民体育大会実施事業」では、国体ブロック大会経費及び国体役員懇談会会場設営費の補助率の変更があり、それぞれ減額となったが、新たに国体冬季大会派遣費が認められたことから、17年度とほぼ同額となった。

「日本スポーツマスターズ実施事業」において、実施競技数が12競技から13競技に増加したことにより、17年度に対し、5百16万8千円増の6千7百17万8千円となった。

スポーツ少年団関係事業については、補助率の変更があり減額となった。

「競技別スポーツ指導者養成事業」では、事業の拡充が認められたことにより増額となった。

「スポーツ科学研究事業費」では、新規で要望した「子どものスポーツにおける食育プログラム開発事業」が認められたことにより増額となった。

「スポーツ振興基金助成金」については、スポーツ振興基金運用益の大幅な減少から、「限定的な助成配分」が原則となったが、スポーツ少年団事業については「特別募集対象」とされ、17年度に対し、2百36万円、5.9%増の4千2百36万円となった。

「スポーツ振興くじ助成金」については、スポーツ振興くじ売上の大幅な減少から「効率的な助成を行うため、更に重点化した事業に対する助成」とされ、17年度に対し、7百99万6千円、90.2%減の87万3千円となった旨説明。

(2)平成18年度協賛企業について

(岡崎専務理事)

「国民スポーツ推進キャンペーン」は、本年度は第 期の最終年次となり、また、「日本スポーツマスターズ」は、今年で第6回目の開催となるが、これら企業協賛事業に対する協賛企業の現状について、次のとおり報告した。

「国民スポーツ推進キャンペーン」協賛企業は、1年間の協賛金が2千万円のランクである「オフィシャルパートナーA」で、昨年度も契約いただいている4社のうち「ミズノ株式会社」とは既に契約を締結。「株式会社アシックス」、「大塚製薬株式会社」、「三井住友海上火災保険株式会社」の3社と契約締結作業を取り進めている。また、本年度より新たな協賛企業として、「コクヨ株式会社」と契約締結した。1年間の協賛金が2百万円のランクである「サポーターカンパニーB」では、「トラベラー株式会社」、「株式会社フォトクリエイト」、「オカモト株式会社」の3社とは既に契約を締結。また、10月に契約更新の「ピー・シー・エー株式会社」とも既に契約更新ということで合意に達している。

「日本スポーツマスターズ2006広島大会」の協賛企業は、オフィシャルスポンサーで、昨年度も契約いただいている「株式会社 ディー エイチ シー」、「ミズノ株式会社」とは既に契約を締結。「株式会社 アシックス」並びに本年1月に東急観光から社名変更した「トップツアー株式会社」の2社と契約締結作業を取り進めている。更に「大塚製薬株式会社」とは、契約継続を前提に現在交渉中である。大会サプライヤーでは、「株式会社セレスポ」と契約締結作業を取り進めており、広島県実行委員会から紹介いただいた「中国電力株式会社」、「株式会社広島銀行」、「マツダ株式会社」についても契約締結の作業を取り進めている。また、大会サポーターでは、「株式会社エンジョイ・スポーツ」と契約締結作業を取り進めており、広島県実行委員会から紹介いただいた「広島ガス株式会社」とは既に契約を締結、「株式会社中電工」、「株式会社デオデオ」、「広島信用金庫」の3社とは契約締結の作業を取り進めていることを報告するとともに、本会事業に協賛いただける企業の紹介を各理事に依頼した。

また、先般、故兵藤昌彦氏（元神奈川県バドミントン協会理事長）のご長男、兵藤茂氏より、スポーツ界に役立てて欲しいとの故人の意志により本会へ100万円の寄附をいただいた旨を報告した。

(3)平成18年春の勲章・褒章受章者について (大谷部会長)

去る4月29日に勲章及び褒章の受章者が発表された。本会推薦の受章者は、日本アマチュアボクシング連盟会長の川島五郎氏が旭日小綬章、全日本スキー連盟副会長の青木巖氏が旭日双光章、日本綱引連盟理事の若山博氏が瑞宝中綬章を受章された。

日本オリンピック委員会からの推薦による受章者は、メキシコシティーオリンピックレスリング金メダリストの中田茂男氏、世界自転車競技選手権大会で10連覇の偉業を成し遂げた中野浩一氏、2月に開催のトリノ冬季オリンピックスケートフィギュア女子シングル金メダリストの荒川静香氏が、それぞれ紫綬褒章を受章されたことを報告。

質疑応答

豊島理事 「スポーツ振興くじ」は、くじの売上げが低迷することにより助成金が大きく減額となっている。しかし、くじの売上げから国庫に納められる納付金の納付率は変わらない状況にある。くじ売上実績が低迷する中、国庫納付率が変更されれば、助成の規模や内容も変わっていくのではないか。

森会長 新しい「toto」の販売とその売上状況を見ながら検討すべき課題ではないだろうか。

豊島理事 協賛企業のうち、ピー・シー・エー株式会社、株式会社セレスポはどのような会社であるのか。

岡崎専務 ピー・シー・エー株式会社は、一般企業向けの会計ソフト等を扱っている。また、株式会社セレスポは、国民体育大会あるいは日本スポーツマスターズの競技会場の設営等を行っている。

森会長 協賛企業選定の際、業務や活動の内容を確認し、本会への協賛社としてふさわしい企業かどうか、岡崎専務と事務局に十分検討してもらい、契約を締結している実情である。

2. 国民体育大会関係

- ・ 国民体育大会ドーピング・コントロール規定の改訂について

(泉委員長)

国民体育大会ドーピング・コントロール規定を日本アンチ・ドーピング規程に準拠し改訂することについて説明。

また、改訂したドーピング・コントロール規定等ドーピング関係規則は冊子に取りまとめ、関係団体宛送付することを報告。

3. 国際交流事業関係

- ・ 第10回日韓スポーツ交流事業・成人交歓交流(派遣)の終了について
(瀬尾委員長)

本年度で10回目となる日韓スポーツ交流事業成人交歓交流日本選手団の派遣を、去る4月13日から19日までの間実施した。

武田政義理事を団長として、本年度スポーツ・レクリエーション祭開催の鳥取県からサッカー、卓球、ソフトテニス、ボウリング、ゲートボール、綱引、エアロビックの7競技、来年度開催の青森県から陸上、テニス、バドミントンの3競技計10競技に、総勢175名を韓国・全羅南道に派遣した。全日程を通して、スポーツによる親善交流のほか韓国の自然や文化に触れるプログラムが準備され、大変有意義な派遣事業となり、成功裏に終了した旨を報告。

また、武田理事より概要報告がなされた。

その他

- ・ 事務局機構について (岡崎専務理事)

平成18年度は事務局全体を7部1室の体制にて取り組んでいくこととし、特に国体推進部については、部内の効率化及び連携強化のため、従来の2課体制から1課体制とすることとした旨を資料に基づき説明。

- ・ 会議日程について (岡崎専務理事)

次回理事会は、6月14日(水)14時から、また平成18年度第1回評議員会を6月21日(水)14時から品川プリンスホテルにて開催し、評議員会終了後、同会場にて第9回秩父宮記念スポーツ医・科学賞表彰式及び祝賀会を開催すること。当初9月13日開催予定であった第4回理事会を9月6日に変更すること。また当初6月21日開催の評議員会終了後に予定していた「日本スポーツグランプリ表彰式」を、9月30日、兵庫国体役員懇談会の中で実施することについて報告。

- ・ ミズノ株式会社創業100周年記念誌について (岡崎専務理事)

本会オフィシャルパートナーである「ミズノ株式会社」が、本年4月1日に創業100周年を迎えられ、これを記念して、『ミズノ100周年記念誌「ミズノスポーツ ドリームズ」』を発刊したことを報告。

以上の諸報告をいずれも了承し、14時50分閉会。